

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE



CAR No.34

2014/4/27

CAR No.35



スーパーFJ 東北シリーズ 第 1 戦



佐藤 哲也

アルビモーターフリークギア ED

加藤 泰賀

アルビビヨンドGIA タイガ ED

CAR No.36



早坂 祐希

アルビ玉三郎 EDGIA

CAR No.37



小村方 喜章

アルビメークウィナーED10V

4月27日(日) 予選・決勝

スポーツランド菅生 1 LAP=3.704km 出走：7台

予選結果：早坂選手 3位 小村方選手 5位 加藤選手 6位 佐藤選手 7位

決勝結果：早坂選手 3位表彰台 小村方選手 5位 加藤選手 6位 佐藤選手 7位

**早坂選手が 3位表彰台獲得！**

■4月27日(日) 8時15分予選スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：17℃ 湿度：47% 路温：29℃

平選手は予選開始後4周目にベストラップをマーク。その後タイムは伸びなかったものの、0.164秒差でポールポジションを獲得した。2番手には篠原選手がつけた。

早坂選手は予選最後のアタックとなった9周目にベストラップをマークし3番グリッド獲得。小村方選手、加藤選手、佐藤選手もそれぞれ予選終盤にタイムを更新し5番手、6番手、7番手となった。

■4月27日(日) 12時13分決勝スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：22℃ 湿度：37% 路温：50℃

ポールポジションの平選手、3番グリッドの早坂選手が好スタートを決め、早坂選手は2番グリッド篠原選手の真横に並ぶとそのまま1コーナーに進入、出口で半車身ほど早坂

選手が前に出る。そのまま2コーナーへ差しかかかると、立ち上がりで行き場をなくした早坂選手が3番手に後退する。その後は、2番手の篠原選手がじわじわとトップの平選手に詰め寄ると、4周目の1コーナーでインを差してトップに浮上。トップ3はその後少しずつ差が開いていきそのままチェッカーを受けた。

4位争いはスタート直後からバトルが続いたが、4位の富田選手が5位の小村方選手を抑えて逃げ切った。新人ドライバー2名は加藤選手が6位、佐藤選手が7位でチェッカーを受けた。

#### ○佐藤選手コメント

まだまだ基本がしっかり身につけていないので、もっと練習して頑張りたいです。

#### ○加藤選手コメント

東北シリーズ開幕戦ということでしたが、まだまだ自分の速さが足りません。また来月レースがあるので、次はもっといい結果を残したいです。

#### ○早坂選手コメント

今年はエースとしてシリーズチャンピオンを取る気持ちで挑みました。結果は3位でしたが、シリーズチャンピオンを取るために、次は優勝を狙っていきたいです。

#### ○小村方選手コメント

最初から前のクルマを捉えていましたが、最後までオーバーテイクできずもどかしい結果になりました。課題は明らかなので、対策を考えていきたいです。

#### ○中村監督コメント

東北シリーズが今シーズンも始まりました。今年はシリーズチャンピオンを奪取すべく2名の継続ドライバーと2名の新人の体制で挑む事になりました。今回のエースは早坂選手で、後輩の指導も含め全面的に前に出してもらいました。

結果、終始安定した走りでスポット組には負けたものの、シリーズを狙う為にはいいポジションで3位獲得ができました。小村方選手は非常にレベルが上がってきましたが、決勝中終始バトルになり、メンタルの弱さが露呈してしまいました。まだシリーズを狙える速さは持っているのですが、今後期待したいです。加藤選手は木曜日のフリー走行から、言った事を形にする器用さは見えました。もう一度基本にもどり、のびしろを沢山作ることで成長させていきたいと思います。佐藤選手は、基礎動作が不安定でこれからも練習をしてタイムアップを図りたいと思います。

総じて東北シリーズは必ずシリーズチャンピオンを取りたいと考えておりますので、今後とも応援の程宜しくお願い致します。









 Nankai Plus.Co.,LTD.
 
 鈴木会計
 




  

 新潟日報
 



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ